

令和3年度

恵那北小学校だより

12月20日号

げんきたっ子



実りの秋が過ぎ、たくましく根を張る冬の到来

伊地知みゆき

令和元年から3年間、恵那市の指定を受けて国語の研究を進めてきました。11月に研究の成果として市内の小学校の先生方に国語の授業を見ていただきました。来賓の方々や他校の先生方が授業に意欲的に向かう子どもたちの姿をたくさん褒めてくださいました。

自ら手を挙げ、自分の考えを学級の仲間に堂々と話せること、子どもたち同士で意見を交流し合い授業を進めていけることなどは、恵那市が目指す「主体的に行動する子ども」や北小が目指す「進んでできる子」の姿に近づいていることを確信します。



～全校集会にて～
堂々と話し、体を向けて聞く子どもたち

発表会后、全校の聞き方、話し方の姿がさらにパワーアップしています。聞く時は相手を見て集中して聞く、話す時は全体を見てわかりやすく話すなどの「聞く、話す」の基本と、国語の授業で学んだ説得力のある話し方や自分の立場を明確にして話すことが身についてきています。1年生から6年生まで全校で集まった時も学年関係なく話し合い活動が進められます。

〇6年生修学旅行



～法隆寺にて～
笠周地区3校6年生全員で記念写真を撮りました

笠周地区3校合同の奈良、京都への修学旅行が初めて実施できました。コロナ禍で懸念事項が多々ある中、全員参加できたことが何よりです。その上、人出が少なく、よいお天気で奈良の大仏も金閣も清水寺もゆったりと見学できました。最高の修学旅行になったと思います。2日間皆一緒に過ごす中で、互いにより影響を受け合っている場面が多々ありました。時間を守る、声を掛け合う、挨拶をする等々、笠周地区3校6年生は最高学年として誇らしい姿でした。

〇市子連ドッチビー交流会

連覇中の北小チーム。今年度は2チーム出場し優勝と準優勝でした。大会役員の方が「北小を負かす学校が出てくることを願います」とおっしゃるくらいずっと強い北小ドッチビーです。

毎年6年生が中心となってメンバーを募り、練習したり、チーム編成を考えたりしています。今年度は学校で改めて練習する姿を見ていなかったのですが、当日は6年生が2年生から5年生までいるチームメイトによく声をかけ、作戦を練り、優勝へと導いていました。こうやって伝統を引き継いでいってくれているのだと感じました。

2学期も残りわずかとなりました。暑かった9月から運動会やデイキャンプ、社会見学、修学旅行、生活科や総合的な学習での地域学習など、様々な機会のたくさんの人とのふれあいを通して、子どもたちはぐんと成長しました。コロナ禍で制限されることもありますが、できる範囲でできることを精一杯取り組むことができました。ご協力ありがとうございました。よいお年をお迎えください。